

紅葉の香嵐溪バスハイク

ウォーキング部の恒例のバスハイクとして、11月22日(日)に「紅葉の香嵐溪バスハイク」を20名の参加で実施しました。

当日は、雨もなく寒くも風もなく、絶好のウォーキング日和に恵まれました。検温・手消毒・マスク着用を徹底して、55人乗り大型バスでソーシャルディスタンスを確保しました。会場はコロナの影響か、混雑も無く散策できました。

紅葉の香嵐溪バスハイク コース図

約5.5km(平坦コース)

予定

- ① 近鉄四日市駅
- ② 富士電機
- ③ 刈谷PA(トイレ)
- ④ 鞍ヶ池PA(トイレ)
- ⑤ バス下車スタート地点
- ⑥ 紅葉の香嵐溪ウォーキング
三州足助屋敷付近で昼食
- ⑦ ゴール地点

昼食後、三州足助屋敷、
香積寺散策(60分以内)

- ⑧ 刈谷PA(おみやげ・トイレ)
- ⑨ 富士電機
- ⑩ 近鉄四日市駅

0 1km



三州足助屋敷(オプション)

香積寺(オプション)



渋滞を予測して香嵐溪2km手前で下車



写真撮影時一瞬のマスク外し

2020年11月22日(日)
香嵐溪バスハイク

香嵐溪初心者のおすすめコース

1時間観光コースは「香嵐溪」の大きな石碑で始まる

観光の始まりは、巨大な石碑から。



◆香嵐溪「待月橋」と周辺の景観

「もみじのトンネル」

「もみじのトンネル」は背の高いもみじの木が覆いかぶさり、トンネルのようになっています。とても幻想的なところですよ。

右手に「巴川」が流れているので、川岸に降りて景色を見てみました。向こうに見えるのが赤い橋のメインの「待月橋(たいげつきょう)」です。



もみじを植えた和尚さんのお寺・香積寺(こうじゃくじ)

現在4,000本ものもみじがあるのは、その「三栄和尚」さんにならって、大正・昭和のはじめにかけて地元の住民の方が植えたからだそうです。また現在のような素晴らしい景観が保たれるために、古い木を伐採し新しい紅葉を植樹して長年守っているのだそう。



香嵐溪広場で食事や休憩を

「香嵐溪広場」には売店や飲食店がたくさんあるので、休憩や食事ができます。

もう少し時間に余裕があれば

寄ってみたいところ・飯盛山山頂

「香積寺(こうじゃくじ)」から徒歩15分で登れます。飯盛山は254メートルの高さなので小さいですが、坂は急です。舗装もしてありません。



◆香嵐溪の香積寺から飯盛山への道

杉の木やもみじの木で覆われた山なので、道が湿っていて落ち葉も湿り、滑りやすいです。



香嵐溪散策・余裕があれば三州足助屋敷で昔を懐かしむ

「三州足助屋敷」もおすすめです。ここは有料施設で300円かかります。

昔ながらの手仕事が紹介されて、懐かしいものが見られます。



次回計画

令和3年28日(日)

ふるさと巡り(桑名地区)

詳細は2月末日に郵便はがきでご案内します。